

日本会計研究学会

第 67 回大会

2008(平成 20)年

9月8日(月)～10日(水)



ご挨拶

会員各位

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、私ども立教大学におきまして、日本会計研究学会第 67 回大会を開催することになりました。立教大学創立以来 134 年の歴史の中で、初めての開催であり、大変光栄に存じております。

近年、会計基準の国際的コンバージェンスの加速化、会社法及び金融商品取引法の制定、ファイナンス構造の変化等、グローバル化のもとでの会計を取り巻く状況の発展には目覚ましいものがあります。こうした状況においては、これまでの多大な研究蓄積を受け継ぎながら、グローバル環境下での会計研究の発展の方向性について考えることに大きな意義があるものと考え、大会テーマを「グローバル化と会計研究の継承・発展」といたしました。

このテーマのもと、統一論題としては「グローバル化と財務会計研究の継承と発展」「日本の管理会計の連続性と非連続性」「グローバル化における監査研究のあり方—新たな監査研究領域への対応—」の 3 会場を設けることになりました。これまでと同様、きわめて水準の高い調査及び研究によるご報告と活発な討論が展開されるものと期待しております。

また、本大会テーマに即し、記念講演会、企業会計基準委員会 (ASBJ) セッション、韓国会計学会からの招待報告を企画いたしております。

記念講演会では、日本会計研究学会理事、学会賞審査委員会委員等をご歴任いただきました津守常弘氏、森川八洲男氏をお迎えし、今後継承し発展させるべき会計研究についてのご講演をいただきます。

ASBJ セッションでは、企業活動のグローバル化の進展のもと、会計基準の新設・変更が行われているこ

とから、ASBJ の方々から「企業会計基準委員会の最近の活動状況」と題するご報告をいただくことになっております。

さらに、前大会に引き続き、韓国会計学会からご報告者をお招きし、同国のグローバル化の状況説明を含めたご報告をいただくことになっております。ご報告と討論を通じて、会計研究の国際的な交流の発展がますます促進されることを願っております。

本大会におきましては、自由論題に非常に多くの報告者を得ることができ、開催校としては優れた研究成果の発信を支援する役目を重く受け止めております。また、次代を担う研究者の皆様のご報告の場として、院生セッションを設けております。

本大会の各報告につきましては、日本公認会計士協会の継続的専門研修制度における CPE 認定研修として承認されております (CPE 研修コード: 200101)。多数の皆様のご参加により、研究者と実務家の交流の場になることを願う次第です。

最後に、本大会開催にあたって多大なご支援とご協力をいただきました韓国会計学会、企業会計基準委員会、立教会計士会、株式会社オービックビジネスコンサルティング、その他関係各位に厚くお礼申し上げます。

2008 (平成 20) 年 7 月 23 日

日本会計研究学会第 67 回大会準備委員会

委員長	大橋英五
委員	熊谷重勝
	倉田幸路
	松井泰則
	内野一樹
	坂本雅士
	諸藤裕美
	小澤康裕

参加登録手続き

- (1) 大会参加費は 7,000 円、懇親会費は 8,000 円です。両方に参加される場合は合計で 15,000 円です。
- (2) ご参加の方は、同封の郵便振替払込用紙で 8 月 25 日(月)までにお払い込み下さい。大会・懇親会へのご参加は、お振り込みをもって確認させていただきます。なお、お振り込みが遅れますと名札等の準備ができかねますので、期日厳守でお願いいたします。振込期日後の懇親会へのお申込みは、会場準備の都合上、お受けできない場合があります。
- (3) 大会参加費および懇親会費の領収書につきましては、「郵便振替払込請求書兼受領証」で代えさせていただきます。大会当日は、念のため、「郵便振替払込請求書兼受領証」(またはその写し)をご持参下さい。なお、お振り込みいただいた金額につきましては払い戻しをいたしませんので、ご了承下さい。
- (4) 本大会では、弁当の予約・販売はいたしません。本学学生食堂等をご利用下さい。
- (5) 大会会場へのお車でのご来場はご遠慮下さい。
- (6) お問い合わせは、大会準備委員会宛に郵便、FAX または E メール(裏表紙参照)にてお願いいたします。

目次

大会全体スケジュール	1
理事会・評議員会等スケジュール	3
大会第 1 日目 9 月 8 日(月)	
会員総会	4
スタディ・グループ報告	4
課題研究委員会・特別委員会報告	5
懇親会	5
大会第 2 日目 9 月 9 日(火)	
自由論題報告 I	6
韓国会計学会からの招待報告	14
統一論題報告	15
ASBJ セッション	16
大会第 3 日目 9 月 10 日(水)	
自由論題報告 II	17
統一論題討論	25
記念講演会	26
フェアウェル・パーティ	26
会場(池袋キャンパス)のご案内	27
会場への交通アクセス	29

次頁以降の司会者・報告者等の氏名は敬称を略しております。

大会全体スケジュール

第 1 日目 9 月 8 日(月)	
11:00-17:00	参加者受付 (11 号館エントランス)
18:00-19:00	参加者受付 (ホテルメトロポリタン 3 階)
12:30	新入会員発表 (11 号館エントランス)
13:00-14:30	会員総会 (タッカーホール)
14:40-15:20	スタディ・グループ報告 第 1 会場: 河野正男主査 (8 号館 1 階 8101 番教室)
	第 2 会場: 吉岡正道主査 (8 号館 2 階 8201 番教室)
15:30-16:10	課題研究委員会報告: 山本浩二委員長 (タッカーホール)
16:15-16:55	特別委員会報告: 桜井久勝委員長 (タッカーホール)
17:00-17:40	特別委員会報告: 広瀬義州委員長 (タッカーホール)
18:30-20:30	懇親会 (ホテルメトロポリタン 3 階 富士の間)

第2日目 9月9日(火)

9:20-17:00 参加者受付
(11号館エントランス)

9:50-12:00 自由論題報告Ⅰ
(本館2階, 10号館1~3階)

9:55-11:40 韓国会計学会からの招待報告
(8号館2階8202教室)

13:00-15:10 統一論題報告
(8号館1階8101教室・2階8201教室・8202教室)

15:40-17:10 ASBJセッション
(8号館1階8101教室)

第3日目 9月10日(水)

9:20-15:30 参加者受付
(11号館エントランス)

9:50-12:00 自由論題報告Ⅱ
(本館2階, 10号館1~3階)

13:00-15:00 統一論題討論
(8号館1階8101教室・2階8201教室・8202教室)

15:30-17:20 記念講演会
(8号館1階8101教室)

17:30-19:00 フェアウェル・パーティ
(第一食堂)

理事会・評議員会等スケジュール

9月7日(日)

11:30-12:30 入会資格審査委員会
(12号館地下1階第1会議室)

13:00-15:00 学会賞, 太田・黒澤賞審査委員会
(12号館地下1階第3会議室)

15:00-17:30 理事会
(12号館地下1階第2会議室)

9月8日(月)

9:30- 評議員受付
(12号館地下1階)

10:00-12:00 評議員会
(12号館地下1階第1・第2会議室)

第1日目 9月8日(月)

参加者受付 11:00-17:00 11号館エントランス

18:00-19:00 ホテルメトロポリタン3階

新入会員発表 12:30 11号館エントランス

会員控室 12:00-17:30 11号館2階A203・A204教室

会員総会
13:00-14:30
タッカーホール

スタディ・グループ報告
14:40-15:20
(発表時間 各30分 質疑応答 各10分)

第1会場 8号館1階8101番教室
環境財務会計の国際的動向と基礎概念に関する研究
司会 上妻 義直(上智大学)
主査 河野 正男(中央大学)

第2会場 8号館2階8201番教室
会社法の計算規定
司会 新田 忠誓(帝京大学)
主査 吉岡 正道(東京理科大学)

課題研究委員会・特別委員会報告

課題研究委員会報告 15:30-16:10

特別委員会報告(1) 16:15-16:55

特別委員会報告(2) 17:00-17:40

(発表時間 各30分 質疑応答 各10分)

会場 タッカーホール

課題研究委員会報告

わが国における原価計算の導入と発展
—文献史的研究—

司会 上總 康行 (福井県立大学)

委員長 山本 浩二 (大阪府立大学)

特別委員会報告(1)

会計情報を活用した企業評価に関する総合的研究

司会 北村 敬子 (中央大学)

委員長 桜井 久勝 (神戸大学)

特別委員会報告(2)

財務報告の変革に関する研究

司会 平松 一夫 (関西学院大学)

委員長 広瀬 義州 (早稲田大学)

懇親会

18:30-20:30

ホテルメトロポリタン 3階 富士の間

第2日目 9月9日(火)

参加者受付 9:20-17:00 11号館エントランスホール

会員控室 9:20-17:30

11号館2階A203・A204教室

自由論題報告 I

第1会場—第14会場

第15会場—第17会場(院生セッション)

報告(1) 9:50-10:20

報告(2) 10:20-10:50

(休憩 10分)

報告(3) 11:00-11:30

報告(4) 11:30-12:00

(発表時間 各20分 質疑応答 各10分)

第1会場 本館2階1202番教室

司会 向山 敦夫 (大阪市立大学)

(1) 有価証券報告書における非財務情報開示の現状と課題
—企業を取巻く環境問題とそのリスク情報のあり方—

川原 尚子 (近畿大学)

(2) 企業報告モデルの財務諸表観

古庄 修 (日本大学)

司会 高須 教夫 (兵庫県立大学)

(3) のれんの配分計算と利益測定

勝尾 裕子 (学習院大学)

(4) ASBJによる会計基準設定活動の特徴と課題

大塚 成男 (千葉大学)

第2会場 本館2階1206番教室

司会 梅原 秀継 (中央大学)

(1) 貸借対照表「純資産」規定にみる国際財務報告基準
(IFRS)との乖離について

濱田 弘樹 (釧路公立大学)

(2) 交付株式の会計における「拠出資本と留保利益の区別」
のあり方と意義

石川 業 (愛知大学)

司会 陣内 良昭 (東京経済大学)

(3) 会計のコンバージェンスと配当制度

岩崎 勇 (九州大学)

(4) 自己株式処分差益と払込剰余金

内川 菊義 (同志社大学名誉教授)

第3会場 10号館3階X301番教室

司会 勝山 進 (日本大学)

(1) 独立行政法人会計における減価償却の検討

高橋 選哉 (吉備国際大学)

(2) 政府・自治体の固定資産の再評価とインフラ資産の会計—
資本維持概念と評価論を手掛かりとして—

鶴川 正樹 (公認会計士)

司会 黒川 保美 (専修大学)

(3) 地方公会計改革の課題と展望

石田 晴美 (文教大学)

(4) 会計情報と経営行動—国立大学法人を例にして—

山本 清 (国立大学財務・経営センター,
東京大学)

第4会場 10号館3階X302番教室

司会 河崎 照行 (甲南大学)

(1) 知的資産の台頭と会計制度の変革—R&D会計を中心に

高橋 琢磨 (明治学院大学非常勤)

(2) IT企業買収におけるのれんの発生過程と減損テストへの
一視点

藤田 敬司 (立命館大学)

司会 新谷 司 (日本福祉大学)

(3) グローバリゼーションと会計記号—ボードリヤール記
号論の視点から—

浅沼 宏和 (名古屋学院大学大学院, 浅沼会計
事務所)

- (4) アカウンタビリティの陥穽
堀口 真司 (神戸大学)

第5会場 10号館3階 X304 番教室

- 司会 河 榮徳 (早稲田大学)
- (1) セルサイド・アナリストの公表する株式レーティング情報の有用性
太田 浩司 (兵庫県立大学)
近藤 江美 (兵庫県立大学大学院生)
- (2) 業績の影響をコントロールした裁量的発生高の有効性に関する検証—Kothari, Leone, and Wasley(2005) の追加検証—
北川 教央 (神戸大学)
後藤 雅敏 (神戸大学)
- 司会 薄井 彰 (早稲田大学)
- (3) 退職給付会計における期待運用収益率の分析
吉田 和生 (名古屋市立大学)
- (4) Subramanyam[1996]は今でも成立しているか?
後藤 雅敏 (神戸大学)

第6会場 10号館3階 X305 番教室

- 司会 佐々木重人 (専修大学)
- (1) 19世紀中葉イギリス鉄道会社の複会計システムの役割
澤登 千恵 (高松大学)
- (2) 吉田良三とその簿記書
工藤栄一郎 (熊本学園大学)
島本 克彦 (姫路商業高等学校)
- 司会 山下 寿文 (佐賀大学)
- (3) 信託の受益者会計の検討
鯖田 豊則 (東京国際大学)
- (4) 銀行の貸倒引当金会計—日米比較を中心として—
児嶋 隆 (中央大学)

第7会場 10号館3階 X306 番教室

- 司会 五十嵐邦正 (日本大学)
- (3) 資産・負債アプローチと収益認識の展開
鈴木 学 (近畿大学豊岡短期大学)

- (4) 収益認識についての一試案
今村 猛 (今村公認会計士事務所)

第8会場 10号館3階 X307 番教室

- 司会 浦崎 直浩 (近畿大学)
- (1) 会計教育と倫理
原田 保秀 (四天王寺大学)
- (2) 大学における会計教育導入段階の意義とその変化—コンバージェンス時代における簿記教育の意義—
千葉 啓司 (千葉商科大学)
- 司会 金井 正 (創価女子短期大学)
- (3) 環境問題への対応に関する組織変化モデルと環境会計の役割
東田 明 (名城大学)
- (4) 「和諧社会」と中国の社会関連会計
水野 一郎 (関西大学)

第9会場 10号館2階 X201 番教室

- 司会 加井 久雄 (新潟大学)
- (1) 引当金の会計上の見積りと監査判断に関する実験的研究—学生を対象とした質問表調査から—
中野 雅史 (明治大学兼任講師)
- (2) 飴と鞭が市場の信頼性に及ぼす影響—投資家による内部統制の整備コストの負担と行政処分・損害賠償訴訟の効果—
加藤 達彦 (明治大学)
- 司会 長吉 眞一 (明治大学)
- (3) GC問題の解釈と現状に関する考察
島 信夫 (釧路公立大学)
- (4) 監査人懐疑心の識域とその拡張に関わりある一考察
任 章 (北九州市立大学大学院)

第10会場 10号館2階 X202 番教室

- 司会 松本 祥尚 (関西大学)
- (1) 監査人のレピュテーション—レピュテーション喪失におけるクライアントへの影響—
佐久間義浩 (富士大学)
- (2) 監査報酬プレミアムに関する実証分析
矢澤 憲一 (青山学院大学)
- 司会 原田 満範 (松山大学)
- (3) 「企業にとっての価値」概念の検討
青木 孝暢 (LEC 東京リーガルマインド大学)
- (4) 2006年イギリス会社法における資本維持・計算規定
篠原 繁 (創価大学非常勤)

第11会場 10号館2階 X203 番教室

- 司会 柳 裕治 (専修大学)
- (1) 企業会計と法人税負担率—応能負担原則の観点から—
田中 里美 (明治大学専任助手)
- (2) 受益者連続型信託における問題点の検討—財産税務会計からのアプローチ—
高沢 修一 (大東文化大学)
- 司会 野田 秀三 (桜美林大学)
- (3) タックス・プランニング戦略の不確実性に関する一考察
塚本 利平 (税理士, 敬愛大学非常勤)
- (4) 19世紀末ドイツの鉱山会社の現在価値償却の税務実務—1885年地方税法の現在価値評価から1921年ライヒ所得税法改正の取得原価評価へ—
川端 保至 (和歌山大学)

第12会場 10号館2階 X204 番教室

- 司会 井上 達男 (関西学院大学)
- (1) ROEに対するHOBモデルの適用と分析
—ノ宮士郎 (専修大学)
- (2) EVA[®]採用企業のNOPATと労働報酬
笠井 賢治 (亜細亜大学)

司 会 岡部 孝好 (同志社大学)

- (3) 公表財務諸表の修正に関する実態調査
奥村 雅史 (早稲田大学)
- (4) 日米上場企業における内部統制とガバナンスに関する調査研究—2007年12月のサーベイ調査を中心として—
佐々木隆志 (一橋大学)
須田 一幸 (早稲田大学)
中島 真澄 (福島学院大学客員准教授)
奥田 真也 (大阪学院大学)

第13会場 10号館2階 X206 番教室

司 会 金井 繁雄 (文京学院大学)

- (1) 中国会計の動向
小淵 究 (城西国際大学)
- (2) 企業会計基準委員会「資産除去債務に関する会計基準」の意義—国際会計基準の対応・FAS No. 143 導入経緯と本邦問題点の考察—
平島 鹿蔵 (日本個人投資家協会顧問)
- 司 会 橋本 尚 (青山学院大学)
- (3) 米国財務報告制度改革の構図と今後の課題
小川 真実 (千葉大学)
- (4) 米財務会計基準委員会 (FASB) 制定の公正価値基準 (SFAS157) は金融機関のより適正な財務情報開示を促し、金融システム安定に資するのだろうか?—サブプライムローン (信用力の低い個人向融資) と証券化商品に焦点をあてて—
鶴田 正博 (LEC 東京リーガルマインド大学)

第14会場 10号館1階 X104 番教室

司 会 小菅 正伸 (関西学院大学)

- (1) 原価改善と利益管理
前田 陽 (小樽商科大学)
- (2) 能率管理における標準原価計算の限界とタクト生産方式の優位性, および両者の併存不可能性
小沢 浩 (名古屋大学)

司 会 伊藤 嘉博 (早稲田大学)

- (3) 管理会計技法の国際移転の論理的枠組みに関する一試論—日本と韓国の事例を中心として—
前田 貞芳 (武蔵大学)
金 承子 (武蔵大学総合研究所研究員)
- (4) 時間主導型 ABC と経営革新: 収益性の見直し
前田 貞芳 (武蔵大学)
久保田敬一 (中央大学)
海老原 崇 (武蔵大学)

第15会場(院生セッション) 10号館1階 X105 番教室

司 会 木本 圭一 (関西学院大学)

- (1) 中国医療原価計算—部門別 (科別) 原価計算
蔣 益鳴 (熊本学園大学大学院生)
- (2) 中国における会計制度改革に関する一考察—会計基準のコンバージェンスをめぐって—
魏 巍 (兵庫県立大学大学院生)
- 司 会 長谷川恵一 (早稲田大学)
- (3) 製造環境と原価管理の適合性の検討
福島 一矩 (慶應義塾大学大学院生)
- (4) 環境・CSR 活動における BSC の有用性
岡 照二 (関西大学大学院生)

第16会場(院生セッション) 10号館1階 X106 番教室

司 会 與三野禎倫 (神戸大学)

- (1) 会計発生高と成長性および効率性—収益性に対するインプリケーション—
近藤 江美 (兵庫県立大学大学院生)
- (2) わが国企業の四半期会計行動の実証分析
松本紗矢子 (大阪市立大学大学院生)
- 司 会 川村 義則 (早稲田大学)
- (3) アメリカ証券市場の発展と米銀の資本蓄積を支える現代投資有価証券会計基準とその限界
新祖隆志郎 (同志社大学大学院生)
- (4) 1970年代の米国多国籍企業のセグメント情報公開
田村真由美 (神戸大学大学院生)

第17会場(院生セッション) 10号館1階 X107 番教室

司 会 清村 英之 (沖縄国際大学)

- (1) 会計コンバージェンスの進展と税務会計
岩井恒太郎 (立教大学大学院生)
- (2) 「逆基準性」の有用性に関する考察
井上 隆 (諫早税務署、長崎大学大学院)
- 司 会 佐藤 信彦 (明治大学)
- (3) 使用権モデルにおける測定の二面性
佐藤 恵 (横浜国立大学大学院)
- (4) 戦略的会計行動としての自発的ディスクロージャー - 減損会計基準の設定前及び早期適用の事例分析 -
高橋 二郎 (京都大学大学院生)

韓国会計学会からの招待報告

挨拶 9:55-10:00

報告(1) 10:00-10:40

(休憩 20分)

報告(2) 11:00-11:40

(発表時間 各 20分 質疑応答 各 20分)

会場 8号館2階8202教室

挨拶 平松 一夫 (関西学院大学)

司会 白田 佳子 (筑波大学)

- (1) Dynamics of Managerial Overconfidence: Evidence from Insider Trades and Management Earnings Forecasts around Upward Stock Listing Change.

Gil S. Bae (Korea University)

W. Kross (State University of New York at Buffalo)

Inho Suk (York University)

コメンテータ 弥永 真生 (筑波大学)

- (2) Does the Distance Enhance Analyst Forecast Accuracy? Evidence from the Group Analysts in Korea.

Youngdeok Lim (Ph.D. candidate, Korea Advanced Institute of Science and Technology: KAIST)

Kooyul Jung (Korea Advanced Institute of Science and Technology: KAIST)

コメンテータ 八重倉 孝 (法政大学)

統一論題報告

13:00-15:10

報告(1)

報告(2)

(休憩 10分)

報告(3)

報告(4)

第1会場 8号館1階8101番教室

「グローバル化と財務会計研究の継承と発展」

座長 徳賀 芳弘 (京都大学)

- (1) 企業会計の変革と会計理論の役割

藤田 晶子 (明治学院大学)

- (2) 分配規制と制度会計の役割

野口 晃弘 (名古屋大学)

- (3) 実証会計学の継承と発展

大日方 隆 (東京大学)

- (4) 実験会計学の意義と限界

山地 秀俊 (神戸大学)

第2会場 8号館2階8201番教室

「日本の管理会計の連続性と非連続性」

座長 岡野 浩 (大阪市立大学)

- (1) わが国管理会計研究の動向と発展—ダイナミック・テンションの創造に向けて

吉田 栄介 (慶應義塾大学)

- (2) 松下電器における管理会計の変革

吉富 純高 (松下電器産業株式会社)

- (3) 管理会計の実践と理論の相互発展に向けて—一制度進化の観点から

澤邊 紀生 (京都大学)

- (4) グローバリゼーションと会計研究—海外からの視点

トモ スズキ (オックスフォード大学)

第3会場

8号館2階8202番教室

「グローバル化下における監査研究のあり方—新たな監査研究領域への対応」

座長 伊豫田 隆俊 (甲南大学)

- (1) 四半期レビューの論理と課題

井上 善弘 (香川大学)

- (2) 監査報告の新展開

山崎 秀彦 (専修大学)

- (3) グローバリゼーションと監査実務

関根 愛子 (公認会計士)

- (4) グローバリゼーションと監査研究—継承・発展・積み残し—

百合野正博 (同志社大学)

ASBJセッション

15:40-17:10

8号館1階8101番教室

テーマ 「企業会計基準委員会の最近の活動状況」

司会 齋藤 真哉 (横浜国立大学)

報告者

逆瀬 重郎 (企業会計基準委員会 副委員長)

市原 順二 (企業会計基準委員会 専門研究員)

小堀 一英 (企業会計基準委員会 研究員)

第3日目 9月10日(水)

参加者受付 9:20-15:30 11号館エントランス
会員控室 9:20-16:00
11号館2階A203・A204教室

自由論題報告Ⅱ

第1会場-第14会場

第15会場-第17会場(院生セッション)

報告(1) 9:50-10:20

報告(2) 10:20-10:50

(休憩 10分)

報告(3) 11:00-11:30

報告(4) 11:30-12:00

(発表時間 各20分 質疑応答 各10分)

第1会場 本館2階1202番教室

司会 鈴木 一水(神戸大学)

- (1) 証券価格と実効税率の関係
米谷 健司(山口大学)
- (2) 人間心理と企業会計
田口 聡志(同志社大学)
- (3) 無形資産集約企業と投資家の評価
石光 裕(京都産業大学)
音川 和久(神戸大学)
- (4) 情報が増えると投資家は不安になるか
後藤 雅敏(神戸大学)
山地 秀俊(神戸大学)

第2会場 本館2階1206番教室

司会 梶田 龍三(大分大学)

- (1) 資本提供者の属性と負債計上額のレリバンス
小林 伸行(常磐大学)
- (2) 負債・持分識別問題の新展開と資本金計
山田 純平(駒澤大学)

司会 田中 建二(明治大学)

- (3) 社債の時価評価再考
山本 貴啓(立正大学)
- (4) デリバティブ取引の認識と測定-公正価値評価
伊藤 眞(慶應義塾大学)

第3会場 10号館3階X301番教室

司会 首藤 昭信(神戸大学)

- (1) 経営者業績予想の駆け込み修正の研究-その実態と実証会計学への影響-
円谷 昭一(埼玉大学)
- (2) 利益の質に関する一考察-アメリカ研究開発費会計とソフトウェア会計を通じて-
中村 恒彦(桃山学院大学)
- (3) 企業評価モデルの整合性の会計学的考察
矢部孝太郎(大阪商業大学)
- (4) リースのオフバランス価値と投資リターン
松浦 良行(山口大学)

第4会場 10号館3階X302番教室

司会 平野 嘉秋(日本大学)

- (1) 所得税における収入金額と必要経費との対応について-事業所得を中心として-
成宮 哲也(近畿大学)
- (2) 新リース会計基準・新リース税制における税務会計上の問題点
長島 弘(自由が丘産能短期大学, 税理士)

司会 成道 秀雄(成蹊大学)

- (3) ビークルの具体的活用方法における導管性と問題点-不動産投資スキームを中心として-
田邊 正(長岡大学)
- (4) 役員給与課税に関する一考察
小山 登(大東文化大学非常勤)

第5会場 10号館3階X304番教室

司会 音川 和久(神戸大学)

- (1) 法的・制度的要因が利益マネジメントに与える影響: 動学モデルによるアプローチ
村上裕太郎(名古屋商科大学)
椎葉 淳(大阪大学)
- (2) 利益調整と会計発生高の質についての実証研究-米国企業改革法(SOX法)がSEC基準わが国企業に与えた影響-
中島 真澄(福島学院大学客員准教授)
- (3) 会計基準のコンバージェンスが資本コストに与える影響について
司会 山地 範明(関西学院大学)
- (4) リターンベースで測定された会計情報の質と株式資本コスト
奥田 真也(大阪学院大学)
竹原 均(早稲田大学)

第6会場 10号館3階X305番教室

司会 石内 孔治(久留米大学)

- (1) 公立病院の経営分析-会計数値を手がかりに-
田中 伸(滋慶医療経営管理研究センター主席研究員)
- (2) 公的部門の会計情報の現状(徴税費を事例にして)
金子 邦博(多摩大学, 公認会計士)
- (3) 公的部門における管理会計の統合プロセス
司会 清水 孝(早稲田大学)
藤野 雅史(日本大学)

- (4) 原価計算対象の進化に関する一考察：
customer-oriented view への重点のシフト
片岡 洋人 (明治大学)
岡田 幸彦 (筑波大学)

第7会場 10号館3階 X306 番教室

- 司会 水島多美也 (中村学園大学)
- (1) 多店舗経営を対象にした会計情報システムに関する研究—本支店会計システムプロトタイプ的设计—
金川 一夫 (九州産業大学)
梅津 亮子 (九州産業大学)
吉田 豊昭 (株式会社ゼコー)
- (2) 組織資本と企業業績の関係
細海昌一郎 (首都大学東京)
- 司会 山口 忠昭 (近畿大学)
- (3) 紛争処理法務と会計学の接点—時価の算定を中心として—
吉田 博文 (公認会計士)
- (4) 学会の経営分析
君塚 芳郎 (電気通信大学名誉教授)

第8会場 10号館3階 X307 番教室

- 司会 池田 享誉 (青森公立大学)
- (1) リポーティング・エンティティの概念化
齋藤 雅子 (大阪産業大学)
- (2) 特別目的事業体の連結会計基準のコンバージェンスに向けた課題
威知 謙豪 (愛知産業大学)
- 司会 乙政 正太 (関西大学)
- (3) 組織再編企業の利益調整と株価形成
北川 教央 (神戸大学)
- (4) 四半期会計情報に基づく企業戦略の実態分析 M&A の実態を中心として
西澤 茂 (上智大学)
上西 順子 (上智大学)

第9会場 10号館2階 X201 番教室

- 司会 上埜 進 (甲南大学)
- (1) キャッシュ・フロー情報の活用事例—ライフサイクル概念とフリー・キャッシュ・フロー概念からの考察—
永田 靖 (広島経済大学)
- (2) ライフサイクル・コストニングの研究—アメリカ国防総省『5000モデル』とブランチャード教授『政府受注生産型企業モデル』におけるライフサイクル・コストニングの方法を中心として—
岡野 憲治 (松山大学)
- 司会 菊谷 正人 (法政大学)
- (3) フランス上場企業における IFRS 導入の影響
クレマン・ガルシア (明治学院大学)
- (4) 会計制度と会計実務の変遷—ドイツ DAX-30 企業と M-DAX 企業等の会計実務分析を中心として—
森 美智代 (熊本県立大学)

第10会場 10号館2階 X202 番教室

- 司会 小西 範幸 (岡山大学)
- (1) 中小企業における借入金の質によるキャッシュ・フローの影響
岡部 勝成
(九州共立大学総合研究所客員研究員)
- (2) 純資産の一期間変動額に関する一考察
井手 健二 (東京富士大学短期大学部)
山下 奨 (早稲田大学助手)
- 司会 鈴木 豊 (青山学院大学)
- (3) 中国会計改革の三十年
張 影 (中国天津財経大学)
- (4) 中国新会計基準における測定属性の変化と問題点
王 春山 (東北財経大学)
浦崎 直浩 (近畿大学)

第11会場 10号館2階 X203 番教室

- 司会 堀江 正之 (日本大学)
- (1) 内部統制を介したフランス・コントロール論へのガバナンス概念の包摂
大下 丈平 (九州大学)
- (2) CSR アンケートからみた内部統制のあり方
大倉雄次郎 (関西大学)
- 司会 永見 尊 (慶應義塾大学)
- (3) ゴーイング・コンサーン問題開示企業の経営計画の実態とその後の状況との関連性
浦山 剛史 (姫路獨協大学)
- (4) 監査人の交代時における監査報酬問題について
町田 祥弘 (青山学院大学)

第12会場 10号館2階 X204 番教室

- 司会 小林 啓孝 (早稲田大学)
- (1) BSC によるアラインメントの事例研究
伊藤 和憲 (専修大学)
- (2) 純粋持株会社制による組織再編の実態
浅田 孝幸 (大阪大学)
塘 誠 (成城大学)
頼 誠 (兵庫県立大学)
- 司会 尾畑 裕 (一橋大学)
- (3) 顧客別コストビヘイビアにもとづく ABC 導入効果の検証
大浦 啓輔 (滋賀大学)
新井 康平 (神戸大学大学院生)
松尾 貴巳 (神戸大学)
- (4) 日本企業のコスト・ビヘイビア分析
安酸 建二 (近畿大学)
梶原 武久 (神戸大学)

第13会場 10号館2階X206番教室

司会 横田 絵理 (慶應義塾大学)

- (1) マネジメント・コントロール概念の再検討組織文化の視点から
新江 孝 (日本大学)
伊藤 克容 (成蹊大学)
 - (2) メンタルアカウンティングからみた業績指標の設定
末松栄一郎 (埼玉大学)
- 司会 廣本 敏郎 (一橋大学)
- (3) 日本企業における管理会計担当者の役割と組織業績への貢献の知覚
福田 淳児 (法政大学)
 - (4) GM社における内部振替価格制度の構築
高栢 真一 (久留米大学)

第14会場 10号館1階X104番教室

司会 角ヶ谷典幸 (九州大学)

- (1) 資産測定における割引現在価値の使用
金子 友裕 (明治大学専任助手)
 - (2) 保険負債の公正価値評価に関する一考察
上野 雄史 (静岡県立大学助教)
- 司会 上野 清貴 (中央大学)
- (3) 従業員給付会計にみる公正価値測定・認識の先鋭化
宮川 昭義 (札幌大学)
 - (4) 退職給付会計における利息項目についての検討
宗岡 徹 (関西大学)

第15会場 (院生セッション) 10号館1階X105番教室

司会 前山 政之 (横浜国立大学)

- (1) 包括利益の将来株価形成への影響—企業特性としての自己資本利益率に注目して—
安部由佳理 (関西学院大学大学院生)
- (2) 会計利益の質と監査人の行動との関連性に関する分析
笠井 直樹 (神戸大学大学院生)

司会 木村 史彦 (東北大学)

- (3) 財務上の特約と負債比率との関係
稲村 由美 (神戸大学大学院生)
- (4) 利益平準化行動における実体的利益マネジメントと会計的利益マネジメントの関係について
松浦 総一 (神戸大学大学院生)

第16会場 (院生セッション) 10号館1階X106番教室

司会 氏原 茂樹 (流通経済大学)

- (1) 国立大学法人会計における減損会計基準の必要性と意義
王 英 (立命館大学大学院生)
 - (2) 非営利組織における外部報告会計の意義—企業会計方式の理解の観点から—
古市雄一朗 (横浜国立大学大学院生)
- 司会 壹岐 芳弘 (日本大学)
- (3) 併存会計と経済取引—会計構造論の観点から
上山 理佳 (中央大学大学院生)
 - (4) SSAP16における段階的利益
内藤 周子 (横浜国立大学大学院生)

第17会場 (院生セッション) 10号館1階X107番教室

司会 小野 武美 (東京経済大学)

- (1) 不動産証券化の実態と会計問題—オリジネーター企業の経営分析を通じて—
高橋 円香 (明治大学専任助手)
 - (2) 金融機関における無形資産会計「コア預金無形資産 (Core Deposit Intangible)」を題材として
中川 貴己 (中央大学大学院生・新生信託銀行株式会社取締役)
- 司会 万代 勝信 (一橋大学)
- (3) 中国の研究開発費に関する会計基準—コンバージェンスの視点から
譚 鵬 (関西学院大学大学院生)
 - (4) わが国における中小企業会計のあり方—IASBによる公開草案を手がかりに—
安藤 鋭也 (中央大学大学院生)

統一論題討論

13:00—15:00

第1会場

8号館1階8101教室

- 座長 徳賀 芳弘 (京都大学)
報告者 藤田 晶子 (明治学院大学)
野口 晃弘 (名古屋大学)
大日方 隆 (東京大学)
山地 秀俊 (神戸大学)

第2会場

8号館2階8201番教室

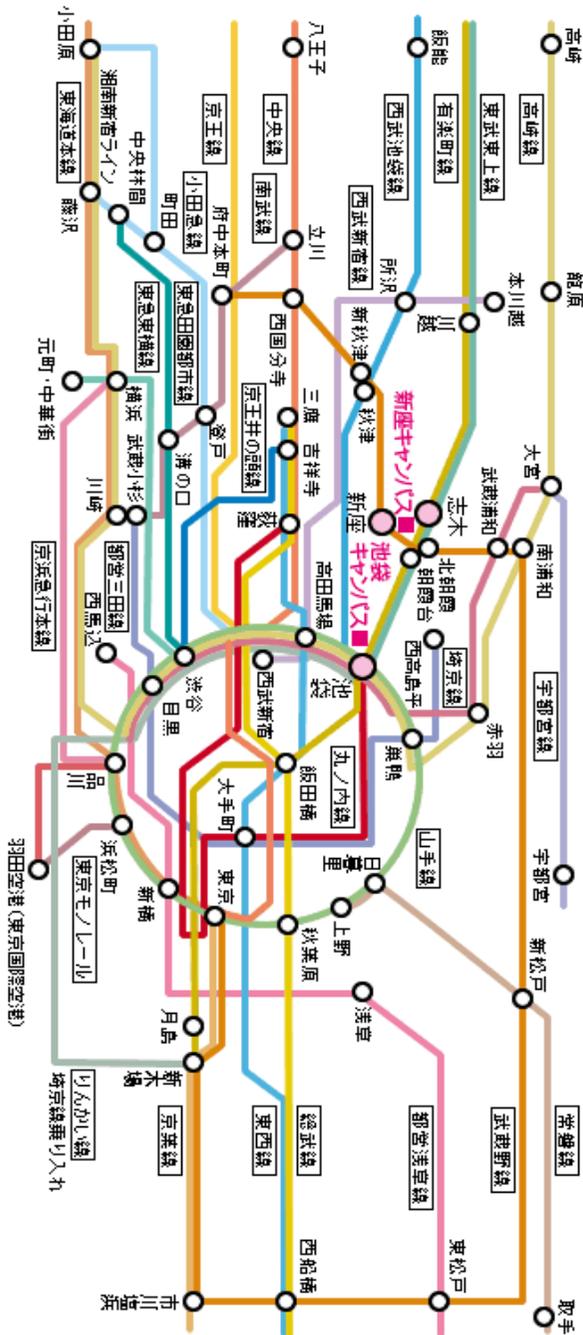
- 座長 岡野 浩 (大阪市立大学)
報告者 吉田 栄介 (慶應義塾大学)
吉富 純高 (松下電器産業株式会社)
澤邊 紀生 (京都大学)
トモ スズキ (オックスフォード大学)

第3会場

8号館2階8202番教室

- 座長 伊豫田隆俊 (甲南大学)
報告者 井上 善弘 (香川大学)
山崎 秀彦 (専修大学)
関根 愛子 (公認会計士)
百合野正博 (同志社大学)

会場への交通アクセス



日本会計研究学会 第67回大会準備委員会

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1
 立教大学経済学部 小澤康裕 研究室内
 TEL / FAX 03-3985-4101 (直通)
 E-mail: JAA2008@grp.rikkyo.ac.jp